

舍利寺小学校跡地検討会議（第3回）会議録

1. 日時

令和7年6月17日（火）午後7時から

2. 場所

舍利寺会館

3. 出席者

●検討会議メンバー

池原ユミ委員、猪股康利委員、上西康博委員、大谷幸重委員、岡田恵司委員、川本眞知子委員、西尾信博委員、西村洋三委員、花岡健夫委員、康村美幸委員（欠席：草薙義雄委員）

●生野区役所

筋原章博	生野区長
竹中一郎	生野区役所まちづくり推進担当課長
山崎智弘	生野区役所安心まちづくり担当課長
杉山百合子	生野区役所まちづくり推進担当課長代理
濱 信行	生野区役所地域まちづくり課担当係長（司会）
坂中彩乃	生野区役所地域まちづくり課担当係員

●傍聴

1名

4. 議題

- （1）地域コミュニティ機能の継続について
- （2）跡地活用で望まれる要件について
- （3）避難所機能の確保について

5. 会議資料

- ・ 次第
- ・ 議事資料 第3回舍利寺小学校学校跡地検討会議
- ・ 参考資料1 舍利寺小学校使用状況
- ・ 参考資料2 生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想概要版
- ・ 参考資料3 生野南小学校跡地活用計画概要版

6. 会議内容

濱地域まちづくり課担当係長

本日はお忙しいところ、また、お出ましにくい時間帯にも関わりませず、お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、「第3回舎利寺小学校跡地検討会議」を始めさせていただきます。私は本日の司会進行を務めます、生野区役所地域まちづくり課担当係長の濱です。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

それでは議題に入ります前に、会議の位置付けについて、ご説明させていただきます。本会議は、大阪市の「審議会等の設置及び運営に関する指針」に沿って、生野区役所が主催する「行政運営上の会合としての会議」として、開催をいたします。なお、本市の規則によりまして、会議は原則公開とし、後日、事務局にて、本日の内容を取りまとめた、ニュースを作成し、まち協内の掲示板への掲出や、区役所のホームページでの掲載、町会での回覧をお願いするなどいたしますので、録音や撮影について、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

次に、本日の配付資料について、ご説明いたします。まず、「舎利寺小学校跡地検討会議（第3回）の次第」がございます。次に、表紙が青色の、「第3回舎利寺小学校学校跡地検討会議」と記載された、本日の議事資料がございます。次に、参考資料1として「舎利寺小学校使用状況」がございます。次に、参考資料2として「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想概要版」がございます。最後に、参考資料3として「生野南小学校跡地活用計画概要版」がございます。資料はお揃いでしょうか？資料がお揃いでない場合は、事務局からお持ちいたしますので、お手を挙げてお知らせください。よろしいでしょうか？

それでは、会議の開催にあたりまして、生野区長の筋原よりご挨拶申し上げます。

筋原生野区長

皆さんこんばんは。生野区長の筋原です。本日はお忙しい中、暑い中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今ご説明させていただきましたように、この舍利寺小学校の跡地の検討会議ですね、この第1回、第2回と皆様方のご意見をお聞かせいただきまして進めてきたわけでございます。地域コミュニティ機能の継続ということと、避難所機能を確保するということで、それを前提条件にして、また跡地活用で舍利寺の地域の皆様方が望まれる要件を加え、事業者を公募していくという形で、ご意見を今まで賜ってきたわけでございますが、先日委員の方から、この舍利寺小学校の跡地の活用案ですね、地域コミュニティ機能を継続して、さらに地域活動を発展させるという方向性、ご提案のお話を聞かせていただきました。ただその時に私明確に言えていなかったのですけれども、当然そういう形で舍利寺の地域のコミュニティ機能を継続して、その地域の活動、また地域の交流を、活性化し、発展させていくということであれば、もうそれが一番できるのはこれ舍利寺の地域のまちづくり協議会だということ、他の事業者はもういないのではないかと思われたかもしれないのですけれども、ただこの公募をするという形はやはり消すことができません。今回の場合は跡地活用なので、建物全体を運営しないといけないという要素もあり、その要素も加味されるので、どうしてもそこで公募の形を取らざるを得ないということになります。そのところを、私がお話を聞かせていただいた時にもっと明確に言っていたら良かったのですが、はっきりご説明できてなかったと思いますので、お詫びしまして、そういう形になるということが前提で、後ほど今回の正式提案という形で、舍利寺小学校の、このまちづくり協議会案というのを承り考えていければ良いなと思っております。

ですので、まず冒頭に青い資料で、この検討会議のいつものおさらいみたいなことになりますが、まずは竹中の方からご説明をさせていただきまして、その後でまた改めまして地域による活用提案を、承りたいと思いますので、本日よりよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

濱地域まちづくり課担当係長

それでは、早速ですが議事に入ります。表紙が青色の「第3回舍利寺小学校学校跡地検討会議」と記載された資料をご覧ください。それでは、資料につきまして、まちづくり推進担当課長の竹中より説明いたします。

竹中まちづくり推進担当課長

皆さんこんばんは。4月からまちづくり推進担当課長を拝命しました竹中と申します。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。それでは座って説明させていただきます。

最初にこの学校跡地検討会議につきまして、改めて説明をさせていただきたいと思いますが、この舍利寺小学校の跡地活用の事業者を決めていく流れということで、これまでもご説明してきたと思いますけれども、学校跡地の活用の方針や要件を整理しまして、跡地活用計画案を取りまとめて、その計画案をもとに市場調査を行った上で、活用計画、公募要件を確定しまして、活用事業者の公募を行っていくということになります。この活用の方針、活用要件を決めていくために、この学校跡地検討会議で、皆様から地域の防災拠点、災害時の避難所としての機能について、小学校跡地を活用して行われている地域コミュニティ機能について、民間事業者による学校跡地活用条件について、地域・事業者・行政による協力体制について、その他学校跡地活用に関して必要な事項についてなどのご意見を頂戴しまして、これらのご意見などを基に行政が跡地活用計画で必要となる活用方針や要件を取りまとめさせていただきまして、跡地活用計画という形で、事業者公募に向けて作成するということになります。この計画の策定に向けて、これらの項目について、皆様から引き続きご意見を頂戴してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは資料の1番です。前回の会議でも説明しましたが、期間もちょうと空いていますので、改めてご説明をしてまいりたいと思います。

まず、まちづくり構想をもとにした跡地活用の基本的な考え方を、項目で分けさせていただいております。1番から6番ということで、1番、防災拠点と

しての機能。2番、地域コミュニティ機能。3番、パブリックマインドと地域連携、地域貢献。公共的な思いを持った事業者が進出してほしいということなことです。4番目、持続可能であるということで、跡地運営のスキームの導入。5番、学校跡地だけでなくその地域エリアへの活用効果ということで、そういった視点としてもあります。最後に、まちづくり構想の学びの視点ということで、こちらも学校の跡地について、みんなの学校というような形で捉えまして、まち全体に波及していくような学びの視点も重要であるというような構想でございます。

次のページ、そのようなことを事業者募集にあたりまして、前提の要件と望まれる要件ということで、この資料分けております。他の跡地と共通して、こういう精神を求めているというふうに思っていることが6項目ございます。それにプラスしまして、委員の皆様からご意見を頂戴いたしまして、この舍利寺地域として望ましい要件というのを、下のところにプラスしていきたいというふうに、この跡地活用の事業者の方にそれを守っていただきたいと、そういったものをできる事業者を募集したいと思っていますところです。

次、3番です。基本的な事業運営のスキームといたしまして、先にやりましたマーケティングリサーチの結果なども踏まえまして、こういった形でまとめております。基本的には1つの事業者が、跡地全体を借り上げて運営するという形です。あと、貸し付けの趣旨にふさわしい提案内容や、そういったものが判断できる場合は、全体を転貸というのは無理なのですが、必要最小限の範囲で転貸することは可能というスキームを考えております。

貸付方法につきましては、舍利寺小学校は校舎等そのまま残しまして、他の跡地と同じように、定期建物賃貸借契約ということで建物を貸し付けるということで、概ね20年程度の貸し付けを想定しているというところです。

次に、4番です。この4番につきましては参考程度に思っただけなら良いですが、事業者が活用するにあたりまして、本市と事業者の費用負担区分を

記載させていただいております。このような形で分担して、跡地活用の事業に取り組んでいくというものでございます。

次、5番です。これは運営のチェック体制ということで、公募の後に事業者が決まりまして、運営を開始する前には、必ず地域の方への事業内容の説明をしていただくということを条件にしたいと思っています。その後も活用が始まりましたら、定期的に事業者、それから地域の皆様、区役所といった3者による運営協議会、こういった会議の場を持たせていただいて、事業者だけ突っ走るとか、そういうことがないような形で、事業運営の状況などをチェックしていきたいと思っています。そういったところを参考にするために、活用状況や運営状況のモニタリングというのは、項目を我々が定め、定期的にチェックしているところでございまして、同様にやっていきたいと思っています。

次に、6番です。先ほど5番までが、前回の会議でご説明していた内容ですが、こちらから、本日の会議でご意見をお伺いしたいという項目と、次回以降の会議でご意見をお伺いする項目について記載させていただいております。真ん中のところに書いておりますけれども、本日は、地域コミュニティ機能の継続についてというところと、舍利寺小学校の跡地活用で望まれる要件について、避難所機能の確保について、こちらの項目について皆様からご意見頂戴していきたいと思っています。

次、7番が、先程説明しました項目の少し細かい部分ですが、地域コミュニティについては継続して実施する活動の整理ということで、学校体育施設開放でありますとか、地域で使っているような行事の整理と確認、それと活動で使用するスペースを整理ということをお話したいと思っています。また、舍利寺地域の方で望まれる要件ということで考えてきていただきましたので、そちらについては、またご意見頂戴したいと思います。あと防災拠点、避難所機能についてもこちらからご説明させていただくというところでございます。

次に 8 番でございます。まず、地域コミュニティ機能の維持についてですが、学校体育施設開放事業、生涯学習ルーム事業、地域での行事・活動・イベントなどについて、こちらは他の小学校跡地と同様に、閉校時点で整理した活動につきましては、継続して実施できるよう、活用計画に盛り込んで設定していきたいと考えております。

次、9 番です。跡地活用における地域の利用スペースの内容ということで、記載のとおり講堂、運動場、ミーティンググループ 1・2、理科室、図書室、校舎は災害時の避難スペース、あと備蓄倉庫という形で使っております。こちらについて、この矢印にありますが、ミーティンググループ 1・2、理科室、図書室のところを、例えば 1 室などに集約できないかというふうに考えておりますので、後ほどご意見を頂戴したいと思います。

続きまして 10 番です。地域コミュニティについてということで、この 10 番から 14 番まで、学校体育施設開放事業、生涯学習ルーム事業、地域行事で私どもが把握しております、舍利寺小学校で行われている活動を、ページごとで記載しております。ちょっと分かりにくいと思いますので、この参考資料 1 を見ていただきますと、グラウンドの活動状況と、体育館の活動状況、生涯学習の活動状況と閉校以降に追加された活動と分かれておりまして、グラウンドであれば、土日ほぼ毎週使っておられるなというところですね。体育館の活動も月から日までですね、夕方以降使っているというような状況が、一覧で分かると思います。これらの舍利寺小学校で行っている地域活動につきまして、先ほども申し上げましたとおり、他の小学校と同様に閉校時点で行われていた活動というのが、ここに書いている分なのですが、こちらについては、この内容が閉校時点で使っていたということで、一旦整理させていただきたいと思っています。こちらは閉校時点で実施されておりまして、現在も継続されている活動を記載していますので、ご確認いただけたらと思います。

その中で、先ほどの参考資料 1 の一番後ろに、閉校以降に追加された活動、こちらについてどのような位置付けでやっていくかというところは、また検討していく必要がありますが、防災勉強会については、防災拠点機能を担う施設として、重要な項目だということがございまして、活用後も避難所である舍利寺小学校の現地で実施したいというお声いただいておりますので、13 番のところに防災勉強会という形で追加させていただいております。

ちなみに 14 番は、先ほどご説明しました地域活動や学体などについて、使用箇所を図面の方で図示した資料になります。オレンジのところは部屋を使っているところというような形で、グラウンドについては夜間パトロールと一斉パトロール、盆踊り、餅つき、ラジオ体操、学体で使っています。講堂については、学体と災害の想定訓練に使っているというような形です。

次の 15 番でございます。こちら前回もお示しさせていただいておりますけれども、ご参考にとということで、もう既に跡地活用しているところで、決めていただいた跡地活用で望まれる要件を一覧にしたものです。このように舍利寺の方も望まれる要件ということで、ご意見をいただいて決めていきたいというふうに思っております。

16 番につきましては、舍利寺としての要件について、何か検討の材料にならないかなということでキーワードを記載し、何かヒントになればというところで資料として作らせてもらっていました。地域の繋がりであるとか、多文化多世代の交流、地域行事の継続であるとか、具体的な話で言ったら、子どもが遊べる場所とか遊具とかですね、そういったものがないかとかいうような、いろんなキーワードを盛り込んでみたものになります。

ちょっと矢継ぎ早で説明をさせていただいたのですが、ここで一度説明を区切りまして、皆様のご意見を伺ってまいりたいというふうに思います。最初に一旦地域から望む活用内容ということで、資料を置いていたと思いますので、ご説明いただけたらと思います。

検討会議メンバー

実は、6月6日に区長と副区長にお会いしまして、その話し合いの場で、話の中で先ほどのお答えいただいて、そして区長がお話するまでもなく、私たちももっと突っ込んで聞いたらよかったけど、1人勝手なところもあったかもしれないんですけど、その日の夕刻18時に、ここで地域の役員会に先立ちまして、1時間私たちで討議しました。その際に、今まで1回目、2回目はね、やはり私たち地域にどういう組織、施設をどういうグループ、どういうのが入ってこられるかという、その人たちと共存共栄、信頼関係を結んでいくという、そういうことが1回目、2回目であったと思うんです。区長が以前から言われていた通り、学校の後は学校がいいと思うんだというような、そういうようなお話もあったんですが、10日前に、私たちがこの学校をお借りして、まちづくりの拠点とすると。そして子どもたち、年寄りの憩いの場とすると、そういうことを中心として私たちがやれないかなということを、全体の跡地会議の皆さんで討議したことは1回もないです。申し訳ないけど、独断と偏見で私ともう一人の委員とで話し合いました。構想を温めて、そして皆さんにお諮りしたということで、そのときは1時間も至らなかったのも、それでいこうとか、大賛成とかそういう話じゃなくて、17日の役所のお話を聞いて、私たちも新たに臨もうということになっています。だからこのまちづくりは、どういうことだと今課長からお尋ねがあったけど、簡単に言いますと、僕たちがやるんだと。僕たちがしたいことはこういうふうなことだと。そのときに、よそから入ってくる話なんか私たち何も聞いてないと。私たちがやると思っているからね。はい。だからそういう意味での判断だったので、もう僕らの気持ちは前に進んでいます。ただ、委員に10何名いらっしゃる方が、それでいいよと、いうような話にはなっていないで協力を求めていると思うんですけど、先ほどここ10何ページか、課長がまとめていただいたところにあったと思うんですけど、私たちが言わなければいけないことを、まさに代弁していただいたような文章だったように思うんです。16ページですけども、この抽象的であるけれども、具体的なことを皆さんで決めてくださいよということやけど、結論的に私たちがやるべきことは、抽象的なことを色付けして具体化していくことだなど、この

ように僕個人は思っております。私が突っ走るわけじゃなしに、こういう性格ですから、ちょっと突っ走るところもあるんですけど、皆さんの意見を十分聞きながら、この中身は、この 16 ページは課長がお考えになったことは、非常に最もな言葉やから、ここをしっかりと色付けすれば、自然に舍利寺の色が出てくるかなと、私はそういう風に思っています。だから、ここで何をするんや何をするんやというようなことは、1 回目になかなか申し上げられないんですけども、ぜひ私たちの力でね、運営したいというような、並々ならぬ決意を私は持っています。要は一山も二山も越えやなあかん問題がたくさんあるんです。お金の問題もしかり。その時にはどうしてもやっぱり役所の皆さんの経験と知恵をいただきたい。またぜひ後押しをしていただきたいと、このように思います。

竹中まちづくり推進担当課長

では、地域からの活用案の説明をお願いします。

検討会議メンバー

それでは言葉足らずになるかもしれませんが、簡単に説明させていただきます。舍利寺小学校に限らず、生野区の学校跡地活用の基本としては、先程から説明があったように、ひとつとしては、生野区の災害時の避難場所としての機能、それからもう一つは地域コミュニティを形成する活動拠点として確保すると思っています。これはもう統廃合の話が始まって、最初から設けられていたことだと思いますし、これは生野区のホームページ、最近で言いましたら、この 25 年の 1 月のホームページにも載っていることです。この下の図も同じく今年の 1 月のホームページに載っている分でございます。ということで、この 2 つの機能が学校跡地の活用の基本としてあるというところ、この原点に返って考えさせていただきましたのがこの案でございます。

その中でも中心として考えていきたいのは、子どもたちの制限のない自由な遊び場というもので、大阪市でも西成区の学校跡地とかでも一部されているようにも聞きますし、有名なところでは川崎市あるいは世田谷区の方で、もう 20

年以上前ですかね、されているかと思いますが、そういうものを中心としたもの、先日皆さんもご覧になったと思いますが「こども白書」というのが出されまして、そこには子どもの自殺のことについても取り上げられていましてね。自殺自体は日本全体では多少減っているかもしれませんが、子どもの自殺というのはこの10年20年、200人300人から514人513人と高止まっているというふうな現状もあります。そんな少子高齢化というと子どもの数がすごく減っているにも関わらず、下手したらそうやからかもしれませんが、子どもたちがなぜか生きづらいという世の中になっている。そんな中で、子どもの遊び場をすることによっても、舍利寺の子どもたち、生野区の子どもたち、もっと広い地域の子どもたちも、ここに集まってもらって、また地域の大人たちがそのスタッフとして運営する、そういう交流も含めて、そういう現状を何とかすること、微力ながら繋がっていけばいい。何にせよ子どもたちが楽しく、この地域で過ごしてくれることが何よりかなということを、一番基本に考えさせていただいています。

それに加えて、いつも区長がおっしゃるように、80カ国という人たちが住んでいるこの生野区、そういう人たちとの多文化交流、いろんな教室を兼ねながら、先生になりながら、教えるっていうそういうこともあっていいのかなと、またいろんな中国料理で使う、料理、色々なお店をする、あるいは料理教室とかする、そんなこともあっていいのかなと思っています。そこが多世代交流にもね、繋がっていくんじゃないかなと、多文化交流、多世代交流、子どもたちの場、そういうものを重点的にしながらやっていければなど。

1ページ目のここに書いています、福祉サービス等に場所を提供することによって、家賃収入、まあ収益のことも考えていかないといけませんので、そういうことにも繋がる、持続可能なものになっていくんじゃないかなと思っています。そのためには一番下に書いています、生野区の色々な企業や地場産業、そういうところのお力も色々な形で貸していただきながらやっていければなどと思っています。この連合あるいはまちづくり協議会だけでは、ひょっとしたら、その資金的になかなか厳しいところもあるかもしれませんが、今言ったような色々な企業の力を借りながらやっていければなどと思っています。

この後ろに一応収支も書いているのですが、あえてちょっと最初作った範囲の数字を入れていたんですけど、それはちょっと楽観的な数字過ぎたので、結構黒字になったり、最初の設備投資で1年半での償却もできるというね、そんな計算になってしまったので抜いているんですけど、それもやりようによっては、それもやれるんじゃないかなと思っています。最初に統廃合になった御幸森小学校にも足を運ばせていただいて、お話も聞いたりとかしております。例えば、電気設備や空調設備に結構費用がかかって、そういう費用がかかると分かっていたら、もう手を挙げなかったかもしれないとおっしゃっていましたが、幸い助成金がいただけたら、そういうことで最初は借金でやり始めて、理事の皆さんもそれぐらいやったらいいやろうということですね、GO出されて、今の収支ということで、黒字になっているというふうにお聞きしております。御幸森小学校には、見学にも毎日のようなにいろんなところから来られていますけども、皆さんのおっしゃるのは、こんな地域の子どもたち、地域のためにやっているんでね、事業者さんがそれをどうして負担されたんですかみたいなことをすごく疑問に思ってるようなんですけども、そういうところも今後クリアできれば、本当に収支面でもすごく現実味を帯びるプランかなと思ったりしています。

ちょっと話があちこち飛びましたが、そういうことでよろしいでしょうか？補足ありましたらお願いいたします。

検討会議メンバー

ちょっとお聞きしたいんですが、4ページにあるね、大阪市と事業者の費用負担区分案のところなのですが、運営事業者、この貸付料からその他保守・管理費まで、これは固定化されたものではないんですよ。例えば先ほど御幸森小学校の例を出して、電気設備改修に費用がかかって、そのことを最初から分かっていたら、僕らはしなかったというようなことを言われたんですけども、こういうことは僕ら全くわからないので、冗談半分で聞いていただいて、私達でやろうかというそんな問題も全くないわけで、もし、うちがやるという

ことになれば、どの辺まで相談に乗ってくれるものなのでしょうか？ちょっとこの話は早いと思いますけど。

竹中まちづくり推進担当課長

ここに書いていますが、運営事業者の貸付料は、月額が決まりますので、そちらはいただくことになるのですけれども、先程ご説明いただいた内容で、例えばその飲食店をやるであるとか、遊びの場として整備するとかいうような施設の修繕、改修、改装に要する費用は、事業者さんの方で出していただくという形になります。あくまで今、舍利寺小学校の現状有姿ですね、そちらで事業者にお貸しして、そこを活用していただくというような流れになりますので、そのところは出していただきます。あと日々の維持管理費ですね、光熱水費でありますとか、点検費でありますとか清掃ももちろんですね。あとは例えばどこか不具合が出たときは、直していただくというような形で、現在、他の跡地も事業者さんにやっていたいているというような形です。もちろん保険とかは入っていただく必要がありますし、法定点検も確実にやっていただくことになります。その他の補修とか管理とかですね、そういった費用が必要であれば、そういったのはもう全て運営事業者さんにやっていただきます。市の方は基本的に、大規模改修、外壁が傷んできたり、屋上の防水など大規模な改修はやっていきますけども、基本それ以外については、運営事業者さんに行っていただくというような流れです。

検討会議メンバー

失礼。途中ですみません、今、課長が言ったこれを読んだだけで、いろはの「い」のことは僕は、僕たちは分かる。大規模工事いわゆる躯体に関しては当然市ですと。だけど、先ほどの話にあったように、全部予期しない電気工事、相当なお金がかかると。補助金もらうともらわないとかっていうそういうのは関係なく、こういうようなことは、当時は知らなかったようなこともあったみたいなんですけど、事前に私たち調べて、これだけのものがかかるんだと。彼らは全く分からなかったらしいですね。やって初めて分かったみたいです。

僕たちはその例を参考にさせていただくと、それは当然、事前点検すればわかることだと。そういうようなものは、一番冒頭で申し上げたとおり、相談には乗っていただけないのかなという。ここに書いてあることはね、当然分かるんですけど、書いてないようなことで、すごい大きな不具合が彼らの話であったので、これは検討もしていただけないでしょうかということ。これは区長に聞くのもおかしいけれど。

筋原生野区長

それについては、僕らも当然このプロジェクトを成功させたいっていう考え方ですが、例えばその瑕疵担保責任みたいな考え方ですね。多分おっしゃる意味は。そういう要素が、ちょっと調べたんですけど、大阪市の場合は今までないんですよ。そういう事例がないので。

検討会議メンバー

今回から入れたらいい。

筋原生野区長

地域が直接、運営主体としてやっているのは聞いたことがないので、これ実際に実現したら、非常に画期的だと思うんですが、公募という従来の形は取らなければならない。瑕疵担保責任については関係局と話をしてみようと思っ
ているけれども、上手くいくかは分からないのでここで明言はできないが、無理であったとしても、例えば設備の状況を丁寧に見ていただく機会を設けるとかですね、そういうイメージで思っております。

検討会議メンバー

僕らは民間で言ったら少規模です。大会社とか大企業ではないわけだから、できれば行政の方に拡大解釈していただいて、支援応援していただきたいというのはこれ本音なんです。生野区もまた大阪市の方もね、ちょっとご支援いただけたらなと率直に思います。

検討会議メンバー

結局、竹中課長がおっしゃっている、どういうところに入っていきたいとか、入ってほしいとかという問題に関して、結局1時間程度の会議は、地域の方で決められたものを説明していただいて、それにみんなじゃあということで、全然どこの企業に入ってほしいとか、どういうところでっていうのは、もう全く考えておりません。

検討会議メンバー

今最初に課長がお話した通り、多少の齟齬があったと思うんですけどね、私たちが一生懸命やってやろうという第1歩を踏み出した時に、よそのどこが来るとかそんな分らんような話、そうですかなんか誰も聞いてないと思うんです。区長そうでしょう。私たちが一生懸命、教えてください、頑張ります、分かりました勉強しますと言っている時に、どこの組織が舍利寺小学校に来るのって、そんな話まともに聞いているわけがないんですよ。僕はそう思うんですよ。だから私はよそを考えていないということはそういうことです。もちろんそういうようなせめぎ合いもあると思いますけど、地域の人間ほとんどが初めてです。ここでプロもセミプロもいないんですよ。だからぜひそういうこともお含めいただいて今後色々ね。

筋原生野区長

今、備蓄米の随意契約を国がやっていますけれど、公募でなければ随意契約になるわけです。

地域の活動を発展させるために、その部分は確かにまちづくり協議会以上にできるところはない。ただ、その施設を運営するノウハウの部分、そこはまち協はプロじゃないので、その要素があるので、どうしても公募の形は取らざるを得ないわけですけど、そこで例えば施設の管理運営ですね、それは財源的なことも含めて、例えばそこは共同事業体という形もありますので、舍利寺まちづくり協議会がトップになって、ちょっとどこと組むかですね。なんかそういうところは、いろいろ考えていく価値はあるかなと思うんです。

検討会議メンバー

区長こないだから、どこと組むかというのはもう何百回くらい聞いたんですよ。大事やと思います。こういうような大きなことするのは、やっぱり段階がありましてね、うちら人間からしたら。7,8,9,10 でよしやろう言うから、私たちがこれ一番最初から 10 番なんですよ、やろうと。そこから何か組み立てていくような、ちょっと発想が違うんですよ。発想が違ってもいい、こんな細かいことを 1 から勉強していたらね、僕は絶対できないんですよ。やるんやと。そのためには、これを勉強しやなあかんねや覚えなあかんねやと、そういうような発想の方が、僕はいいかなと勝手に思っている次第なんですけど。

竹中まちづくり推進担当課長

そうですね。今、区長が何回も言っていただきましたけど、やはりその学校ということで、大阪市の財産を貸し付けという形になりますので、市としてはやはり契約には公益性も求められるというところがありまして、入札の契約事務は、大阪市では、より多くの者を参加させて競争性を向上させて、最大の効果を上げるというところをやっていかなければならないということになっていますので、やはり公平に契約の相手方を選定するということで、公募という形は絶対外せないということになります。なので、この跡地活用の事業者を決めるのは、やっぱり広く募集をかけて、内容に沿って選んでいくというような方法は、絶対やらなければならないというところをご理解いただけたらと思います。

検討会議メンバー

それは再確認しましたが、私が言いたいのは、地域ですることがいいと、ベストなんだと。

北海道の組織とかね、九州の組織とかね、ぱっと舍利寺小学校に来てね、それで家賃をいっぱい払うと。跡地には地域の皆さん来てください、仲良くやりましょう、何かあったときはこの講堂使ってください。今のは言い方荒っぽ

いですけどね、ものすごく信頼関係ってね、そんな簡単にね、成就するんじゃないと僕は思うんだ。

竹中まちづくり推進担当課長

はい。入札については提案型で、今ご説明いただいたような、子どもの遊び場であるとか、多文化交流とかいう内容の事業をやってくださいってところで、ご提案いただく内容の中で、賃料が高いからじゃなくて、その提案内容で一番良いところに、もちろんその提案内容の中には地域との連携でありますとか、公共性とかパブリックマインドを持っているっていうのもありまして、そういった形で良い事業者っていうのも、先ほどおっしゃるようなお金だけじゃなくて、どちらかと言えば提案内容で決めるというような形を、跡地活用では行っていますので、そういった面で言ったら、例えば北海道の事業者かもしれませんけれども、舍利寺地域に寄り添ったマインドを持った事業者が入ってくれるような入札のやり方を、これまでもやってるつもりなので、そういった形でやっていく流れにはなります。

検討会議メンバー

自分は商売とか、いわゆる企業のプロがここにおるわけじゃありません。みんなアマチュアです。アマチュアの力を合わせて、僕たちがするとは決まってないですよ。まだ一山も二山も越えやなあかんもんじゃないからね。ただこういう踏み出したら、僕は何も不公平なことをしてくれと頼んだ覚えはないんだ。大原則は、地域住民の拠点となるこの学校を、地域の拠点としてずっとボランティアをやってきた、社会福祉活動に従事してきた私たちがやるということだったら私はね、やっぱりそこはね、別の見方をしていただきたいなと僕はちょっとそういうふうに感じた。

筋原生野区長

幸いなことにというか普通、大阪市の例えば他の区はね、こういう施設を貸すにしても本当の入札なんですよ。金額なんですよ。でも生野区の跡地活用は

特例で、金額は固定でやってきていて、あくまでも提案内容になっています。だから地域のコミュニティ、今日お話し聞いて、地域の望まれる条件をまた文言を整えて見ていただきますけど、地域のコミュニティを継続して、地域の活動、地域交流を発達させるとかそういうことになる。その部分では別の見方をしていると思います。ただ、とはいえ公平な形で保ちながら、実際の地域の望まれる内容をこれからうちの方で中身を作ってですね、お示しをして、あと本当に今おっしゃったようにいろいろ越えなければならないハードルっていうのは、たくさんあると思うんですよ。例えば希望の内容によっては、ここは一種住居ですんでね。だから一種住居っていうのは、基本的に学校か福祉施設か公共施設しかできないっていう規模の制約もあるので、その内容によったら、またどういう形ですることができるかとかですね。またいろいろこれから考えていけないといけないと考えています。

検討会議メンバー

第1回、第2回で跡地がどういうところがいいかっていうので、私たちの跡地問題のね、そのことでみんな委員になって意見を述べるっていうことなんですけど、私たちが地域で借りようじゃないのっていうので、意見がまとまってそれを言えば、公募はどのように、どういった業務業種っていうか、どういった企業に何て、求めているものって、どういうふうに募集されるんですか。

竹中まちづくり推進担当課長

まず、今いただいたような内容を、子どもが制約を受けない自由な遊び場とか、多文化交流と地域交流ですね。あとは資料の中にもものづくりの内容とかもありましたので、それらのおおよそのところの部分を、舍利寺地域の求める要件として、あと元々あります防災拠点、地域行事はそのまま使わせてくださいというような内容を跡地活用計画案としてまとめまして、それをもとに事業者、実際にどんな内容でできますかということでマーケットサウンディングという市場調査、お話をさせていただきましたけども、それを今後やらせてもらって、実際事業者がどれだけ来てくれるかであるとか、あとやるんやったら、も

うちちょっとこれはこうしてもらったらできそうですねという実現性ですね、とかというような話し合いでご意見いただきまして、その上で活用計画というふうな形で作ります。それをもって、公募をかけるというような流れになっていきます。そのための跡地活用計画の素案の方を、今日聞いた内容、いただいた資料を要約させてもらって、舍利寺小学校の跡地活用で望まれる要件として、次回またお示ししてご確認いただけたらと思います。

筋原生野区長

それをまたマーケットサウンディングでまたいろいろね、企業にお聞きするので、その聞いた内容っていうのは、多分ご参考になると思うわけです。例えばこんなだったらね、どういう条件で進出できますでしょうかとか、そこはちょっと聞き方の工夫をいろいろ考えて、そのマーケットサウンディングもご参考にさせていただきながら、実現性を考えられると思っています。

検討会議メンバー

資金調達面でちょっとお聞きしたいんですけどね。大阪市、まあ政府とか自治体こういったところからの助成金とか補助金、そういったものは一切難しいんですかね。

筋原生野区長

大阪市の施設になるんで、その運営に大阪市の助成金が入りますっていうのはちょっと理屈がおかしくなるんですけど、ただ現実問題として、御幸森小学校の跡地は、株式会社 RETOWN と NPO 法人の多文化ふらっとの共同事業体で運営されていますけど、先ほど話にもありましたように、あそこは日本財団というところから助成金をもらいながら、実際はやっておられますので、そういうのを運営をする上でうまく使っていくという要素はあります。

検討会議メンバー

あることはあるわけですね。

筋原生野区長

はい。

検討会議メンバー

ただ申請しても当たるとは限らない。休眠預金とかね。

検討会議メンバー

ここに書いてあるように、クラウドファンディングとかね、企業さんのスポンサーシップの活用とか、そういったものも考えられるかもわからないけど。自治体のそういう助成金がいけるのかなと、ちょっと思ったので。

筋原生野区長

自治体系はちょっと難しいと思います。

検討会議メンバー

それと、支払いなんですけどね。大阪市に対する毎月の家賃ですよ。どれぐらいの金額になるんですか。

竹中まちづくり推進担当課長

それは不動産鑑定を今後やっていきますので、どのぐらいかっていうのが、ちょっと今時点では何とも。

筋原生野区長

通常の施設を貸したときの算定に比べると、いろいろ条件付けますでしょ、だからその分、大分落ちるんですけど、それはその条件の付き様にもよりますので、実際の不動産鑑定でとなります。

検討会議メンバー

ということは、建物の耐用年数に応じて、減価していくごとに、家賃が低くなっていくと。

筋原生野区長

そうじゃないです。それはもう 20 年間はその家賃という形。

山崎安心まちづくり担当課長

何年貸し出しだからっていうので割り戻してっていう形にはなってきます。

竹中まちづくり推進担当課長

例えば、通常やったら全部使えますけども、避難所機能として非常時に開けとかなければならないとかだったら、その分事業者の使い勝手が悪くなるんで、減価されたりとかいうような条件によってというのは、分かりやすく言えばそんな感じになります。

検討会議メンバー

舍利寺小学校は耐用年数、ここから 20 年って言ったら問題ないんじゃない。

竹中まちづくり推進担当課長

大丈夫です。

検討会議メンバー

でも廊下の天井壁がパラパラパラパラ落ちていますし、トイレもパラパラ天井の壁がパラパラパラパラ落ちていますね。あまり、なんか 20 年持つかなって思うような。

検討会議メンバー

使ってないですからね。エアコンも壊れているところがありますしね。

杉山まちづくり推進担当課長代理

1つだけすいません、ちょっとあの心配事があることだけお伝えしておきたいんですけど、先ほど区長が説明したんですけれども、施設運営のところのノウハウの部分は、今ちょっとこちらの答えは出せなかったと思うので、そこだけご認識はいただいております。先ほど価格固定で事業者を決めていくっていう話なんですけど、それは大きく地域コミュニティとか、地域住民の視点とかそういう視点と、もう1つやはり、先ほど話もあった防災拠点として施設を今後20年とか維持していくための、その施設の運営、維持管理とか、そういった面でも、これまでは評価をしてきていますので、その部分は委員がおっしゃった通り、地域はノウハウがないっていうふうなご説明だったんですけど、それに対する私たちの答えは今日は出せてないので、先ほどいろんなところと協議するっていう話があったと思うんですけども、そこだけはこの場で何かよりよい答えが出せたかというところ、出せてないっていうところだけは、ご理解いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。我々も考えなければならぬところかなとは思っていますので、ちょっと大きな宿題かなと思っています。

竹中まちづくり推進担当課長

はい。では次回の会議のときに跡地活用計画の素案という形で一旦ちょっとまとめさせていただいて、次のステップに進んでいきたいというふうに思いますので皆様よろしいでしょうか？

検討会議メンバー

はい。

杉山まちづくり推進担当課長代理

その間にいろんなところと、うちも協議をやらないといけないと思うんで、マーケットサウンディングが先か、協議が先かっていうのは、ちょっと作戦を練らないと。

筋原生野区長

そうですね。色々と僕らも中で検討する必要があります。

杉山まちづくり推進担当課長代理

皆さんも初めてのことなんですけど、私たちもまた新たにはじめてのこと。

筋原生野区長

そうそう、これは僕らも初めてのチャレンジになるんで。大阪市役所の中でもいろいろなところと協議しつつ、詰めていかないといけませんので。

竹中まちづくり推進担当課長

もう一点ご意見賜りたかった部分が、9番のところのスペースの部分なのですが、この中で今、生涯学習と地域の会議等で4部屋使っておられるのですけれども、集約できないかなということを思っております。

検討会議メンバー

どうしても1室だけですか。2部屋は駄目なんですか。

竹中まちづくり推進担当課長

先ほどの話でもありましたけど、使う範囲が広ければ入る事業者は使いやすいというところがあります。1部屋と言っているのは、他の跡地活用しているところでも、1部屋で大体そこを色々な形で順番に使っていただいているというような形をやっていたので、どんなものなのかなというところを今お話をさせていただければと思います。

検討会議メンバー

地域が使うということは置いていて。

筋原生野区長

そうですね。そのイメージがあるから変な感じになるんですけど。

山崎安心まちづくり担当課長

公募のときの条件をどうするかって話ですね。

筋原生野区長

ただ、実際のお伝えするイメージは影響ないんですけど、その中で公募条件を整えるときに、その最低限のやつを書くときにどうかなっていう。

検討会議メンバー

実際ね、図書室というのは今、防災勉強会でずっと、月2回ですけどね、使わせていただいているんですけど、荷物なんかも防災の勉強会で言ったら、大きな資料もいっぱい机の上に置いてまた来月についていう形でね、帰っているんで、そこをまた生涯学習さんが来てから使うとなるとなので、生涯学習さんの方はもうミーティングルームを使っていて、もうその地域の勉強会で図書室を残して、せめて2部屋は残していただくのはありがたいかなと思ったりもするんですけどね。はい。希望です。要望です。

検討会議メンバー

でも今は現実使っておかないとどんどん傷んでしまうんですよ。今後は別として。本当はもう全部の教室、毎月でもエアコンつけて回りたいですけどね。

検討会議メンバー

この時点での光熱費っていうのは大阪市？

竹中まちづくり推進担当課長

そうです。

検討会議メンバー

でも、もしそれが可能であれば、お部屋2つを何とかしていただけたら、他のことではない、防災の勉強会はすごい大きな資料がどんどんどんどんとグループに分かれてます。一度来てください。すごいすごい頑張ってます、防災に関しては。

竹中まちづくり推進担当課長

一度ちょっと持ち帰ります。

検討会議メンバー

お願いします

竹中まちづくり推進担当課長

はい。それと、もうこの参考資料1の一番後ろのページの学校体育施設開放と生涯学習、あと地域行事につきましては、閉校以降に追加された部分っていうのは、基本的になしですよという話だったと思うのですが、その閉校以降に追加された活動ということでここに書かせてもらっています。だんじりについては講堂棟の3階で今やっておられます。あと舍利寺学び舎事業というのが月1回図書室でやっておられる。すみれ幼稚園との交流という運動会もやっているということですが、こちらについて何か整理できませんか。前に、だんじりの方にちょっと1回聞いておくということだったと思うんですけども。

検討会議メンバー

もういいですよ、別に。次もし次のところが決まったら、そのときに話し合うということで、それまでは使えるんですよ。

竹中まちづくり推進担当課長

それは大丈夫なんですけれども、そのときに、元々やっておられた区民センターに戻れるのかどうか。

検討会議メンバー

はい。それかひょっとして私たちが借りることになって、有償で部屋を貸すっていうことも勝五のだんじりに関してはありますよね。

検討会議メンバー

それは、優秀な答えですね。

竹中まちづくり推進担当課長

そしたら、このだんじりについては、活用時にはないと思っておいたら良いですね。

検討会議メンバー

はい。

竹中まちづくり推進担当課長

あと、この図書室の学び舎事業については。

検討会議メンバー

学び舎も解散します。

竹中まちづくり推進担当課長

すみれ幼稚園さんはどうですか。

検討会議メンバー

運動会はどういうふうにされますか。でもね、これ学校あるときからずっと使っていた。

検討会議メンバー

この4月に杉山課長代理に、ちょっと調整を区役所としてもらうようお願いして、スケジュールをお渡ししたと思うんですね。

杉山まちづくり推進担当課長代理

はい。今年はこれ以上に日数をものすごくたくさん使いたいっていう話があったからということでご相談を受けたので、お電話して、貸付がいずれ始まる場所なので、例年通りの使用でお願いしますっていう話をさせていただきました。

検討会議メンバー

なんか紙をもらっていたじゃないですか。あのまま今年使ってもらうっていう話？

杉山まちづくり推進担当課長代理

いえ、紙ではこれ以上に、ものすごくたくさん使うような感じでしたので、いずれ貸付が始まる場所ですし、ちょっと例年通りの使用でお願いしますということで、今まで通りになっていると思います。これ以上にもっとたくさん使いたいというような依頼書が、会長宛に来ていたものを見せていただいたので、申し訳ないんですけども、例年並みにしてくださいというお願いをさせてもらっています。

検討会議メンバー

それはもう納得してくれているんですよね。

杉山まちづくり推進担当課長代理

はい。その点のご理解いただいたかなと思うんですけども、今言っているのは、同じように貸付が始まった後の話なんですけど、あれですよね。閉校前もずっとすみれ幼稚園が使用されていたのですよね。

それが通常ルールでやっていたのか、その学校側の独自の判断でされていたのか、ちょっと確認をする必要がありますけれども。

検討会議メンバー

もともと2日間やったんちゃうの。

検討会議メンバー

はい。2日というか予備日と当日とね。

検討会議メンバー

学校と鍵をやり取りしてもらっていたので、ちょっと分からないです。

検討会議メンバー

というかね、練習日までは入っていなかったよね。

検討会議メンバー

それは入っていなかったですね。

検討会議メンバー

空いてるから、練習日として借りたいんですということだったんです。

竹中まちづくり推進担当課長

本番と予備日だったんですね。

検討会議メンバー

そうですね。

検討会議メンバー

あとは中央公園を使っていただくこともできる。

検討会議メンバー

だから中央公園とかも結構ロート公園とか行ったりもしたりしてはったんですが、やっぱり学校が空いてるということで。

検討会議メンバー

でも中央公園は音がうるさいっていう苦情が入る。そういうのを挙げてはったので、ちょっと住民からも声があった。

検討会議メンバー

学校はもう2日ということで。

検討会議メンバー

そうですね。はい。

検討会議メンバー

リハーサルと本番と2日ということで。

竹中まちづくり推進担当課長

これもちょうと持ち帰ります。基本的には元々ない分なので、入られる事業者は、地域連携というのもやっていただきたいと思いますので、そういった協力の中になるのかどうかっていうところを、検討させていただきます。

検討会議メンバー

はい。

竹中まちづくり推進担当課長

すいません。それでは防災の話を。

山崎安心まちづくり担当課長

そうですね、防災の話もさっと流します。17 ページから防災のことを書かせていただいております。17 ページは基本的な考え方として書かせてもらってる部分で、災害時に避難所として使えますよと。従来と同じぐらいのスペースを開放してくださいという話で、通常時は事業者が使ってもらって結構ですけども、備蓄倉庫部分は通常時も含めてずっと使わせてください。また防災訓練を年1回から2回、それから防災会議という書き方をさせてもらってますけど、これ防災勉強会のイメージですね。これは毎月必要なスペースを空けてくださいねという条件を打つというのが、基本的な考え方となっています。

18 ページの方、こちらの方は皆さんとお話させていただいて、聞かせていただいている、それぞれの場所の使い方というところなので、現状の姿というふうに認識してください。

19 ページです。検討会議の場で、皆さんにお聞きしなければならないというのが、公募条件として、どういう条件を打っていくのかというのをご意見いただきたいと考えております。これまで跡地活用を行った4ヶ所において、どういう条件を打ってたのかというのを資料に挙げさせてもらってます。

具体的に御幸森、林寺、生野南の3ヶ所がよく似ていて、場所を指定するほか、どれだけの数のスペースを開放してくださいという書き方をしているケースが多いパターンです。生野はちょっと書き方が違うのですが、校舎全体を開放してください、ただし、運営上必要となるスペースであったり、精密機械の設置スペースのところは除いてもいいですよ、という条件を打っていました。これらがこれまでの事例となっております。

それを受けまして、今回はたたき台ということでも議論いただけたらいいかなと思って、作った素案という形になってます。講堂、校舎の部分ですけども、講堂に関しては1階部分それから3階部分があります。これら全て避難所として開放してください。校舎に関しましては、現状避難所として活用するスペースの数を確認していきますと、普通教室が21.5教室相当になりますので、それ以上の場所を開放してくださいという話です。今、災害対策本部用ということで、旧理科室のところを活用するということになっていること、それから北校舎の2階部分を備蓄倉庫という形で活用されてるので、それぞれの場所に関しては、災害本部として使用する、備蓄物資の保管場所として使用するという条件にしてはどうかということ、素案を作らせていただいています。

もう今日はもうだいぶ時間が経過しているので、また次回のときで結構なので、皆さん意見としてどういうふうに考えるのかというのを、お聞かせいただけたらなと思っております。私からの説明は以上になります。

竹中まちづくり推進担当課長

一点だけすみません。さっき山崎課長から説明がありました、避難スペースですけれども、普通教室21.5教室相当というふうに現在の内容を叩きとしていただいているんですけども、21.5っていうのはほとんどの教室ということで、先ほどいただいたこの舍利寺として望まれる要件との整合性がとれるのかというところは思ったりはします。

山崎安心まちづくり担当課長

そうですね。避難所として21.5教室分すぐに開放しないといけないとなれば、逆に事業者として思うように使えなくなるという可能性はあります。

杉山まちづくり推進担当課長代理

基本的に20ページにある、可動式で収納可能な、速やかに開放できるような可動式のものの備品であったり、物品のみ設置というのが、通常ほかの学校

でもやっているお話ですので、ちょっと同じような形になるイメージで思っただけかなと思います。

検討会議メンバー

この生野南小学校跡地活用計画の方で、一応 11 教室以上のスペースを開放する、そういう言葉いいですね。

山崎安心まちづくり担当課長

今回の素案では 21.5 教室相当分以上としています。

検討会議メンバー

だからちょっと、もうちょっと遠慮して考えたいと思います。

山崎安心まちづくり担当課長

はい。避難所ということで考えたらその数が増えれば増える方がいいのですが、活用事業者さんにとっては制約が大きくなってしまうのも事実です。その兼ね合いも含めてまたご意見いただけたらと。

検討会議メンバー

これ 21.5 って言ったらすごいパーセンテージや。

山崎安心まちづくり担当課長

現在の避難計画で使う形になってるスペースを確保するというスタンスで素案を作成しています。

検討会議メンバー

すいません。これ御幸森とかみんな何室以上って書いてるところは、町会の数に関係してますか。

山崎安心まちづくり担当課長

町会の数は関係ないですね。現状のスペースであったり。

検討会議メンバー

11 町会あるから、1 町会 1 つで、それ以上開けてくれるという意味ではない。

山崎安心まちづくり担当課長

そういう意味ではないです。

検討会議メンバー

山崎さん、それは前に濱崎さんがおった時ですね、その彼がそういうプレート作って、今、話にあったように、1 町会に、それで、ここはペット用やとか、ここは外部用やとか、それを決めてくれはった。今資料は持ってないんですけれども。基本的には確か 14 やったと思う。

山崎安心まちづくり担当課長

以前、舍利寺小学校で、場所も割り振って計画していただいたというのは聞いています。その当時は、どこの町会がどの部屋に入るかっていう話も決めていただいたという話は聞いています。ただ今現在はあまり決めてないと聞いているのですが、それでいいですかね。

検討会議メンバー

はい、いいです。

検討会議メンバー

うん。今は未来学園の方にも、一部。

検討会議メンバー

行きますからね。未来学園では体育館を舍利寺でということで、使わせていただくことになってますね。

検討会議メンバー

実際に未来学園は行けないでしょ。

検討会議メンバー

舍利寺小学校に収まりきらなかったらっていうことを考えると、そうじゃないとだめですよ。

検討会議メンバー

講堂は 680 だったかな。650 か 680 くらいでいっぱい。

山崎安心まちづくり担当課長

講堂プラス校舎の、使っていただく部屋も含めての数になります、680 は。

検討会議メンバー

そうやね。

山崎安心まちづくり担当課長

はい。ちょっと数字はちゃんと見ておきます。あ、690 ですね。

検討会議メンバー

ちゃんと見直して災害のときの避難場所としての、今見直しばかりしてるんでね。ちゃんと計画をさせていただきます。

検討会議メンバー

防災拠点ももちろんものすごく大事ですけども、この2つのうちのもう1つのね、まちづくりの拠点として、考えていかないといけない。そうするとやっぱりもうまち協以外、連合以外はないと思うので、よろしくお願いします。よそが入って来ても、まちづくりの拠点にはならないと思います。

検討会議メンバー

1つお聞きしてもいいですか。御幸森が設備投資に最初すごくお金がかかったので、日本財団で補助金いただいたじゃないですか。とても大変やったと聞いているんです。もし舍利寺も同じようにたくさんの設備投資が必要となった場合、こういう補助金、日本財団の補助金を申請して受け取れるっていう可能性はあるんですか。

筋原生野区長

それは分からないですね。

検討会議メンバー

すごく大変だったと聞いたことがあるんで。こちらは素人じゃないですか。向こうはNPOをやっていたりね、多少そういうのに精通しているというか、詳しい方たちもいたと思うんですけど、こちらは全然素人なので役所の方に手伝っていただいて、本当取れるものなのかなってというのがすごい不安なんですけど。

筋原生野区長

そこはね、役所も日本財団は関係ないので。あくまでもその申請団体を見はりますので、行政の推薦とかそういう制度はないんですね。

山崎安心まちづくり担当課長

毎年、出ている補助金もあれば、さっきもあったように、お金があるから、その時だけ出るという補助金もあります。

検討会議メンバー

これは毎年あるというわけでもないというわけですね。その時たまたま当たったからもらえたということ。

検討会議メンバー

先ほどの質問と被るんですけど、日本財団のことは、詳しく聞いたんです。大変な書類が、もうこれぐらいの書類をまとめたとおっしゃってました。で、可能性は十分ありますというような話はしてね。僕らはその財団を含めて、補助金助成金という、まずは調べたらわかると思うんですけど、やっぱり区の方で、こういう、ここの申し込み対象ですよとか、いろいろ区長そういうことがあったら、もうその都度教えていただけたらね。

筋原生野区長

はい。そういうのはもちろん僕らも気をつけて。

竹中まちづくり推進担当課長

その他ご意見とかご質問とか、大丈夫でしょうか？

～次回日程についてのやり取り～

濱地域まちづくり課担当係長

はい。それでは、次回の第4回舍利寺小学校跡地検討会議を8月20日の水曜日19時から行いたいと思いますので、ご予約のほどよろしく願いいたします。

以上で第3回の検討会議を終了させていただきたいと思います。長い時間、ありがとうございました。